



第13号平成23年12月20日発行

同和地区社会福祉協議会

社協だより



ひとり暮らし高齢者の集い H.23. 10. 13

ひとり暮らし高齢者の集いを10月13日 八幡町集会所で実施しました。
楽器演奏 リズムメイトの会の皆さんをお招きし、大きな声で合唱をする楽しい時間を過ごしました。歌は、日本の四季をうたった代表的な童謡・唱歌ばかりで、時々、太鼓や体操も入り、皆さんとても明るくお元気でした。みなと介護センターの山中さんの健康体操と、昼食を楽しみ、10歳ほど若返られて(?) 終了しました。



同和地区社会福祉協議会 会長 水谷 謙之

ハーモニカ人生

H.23. 10. 15

黒川 裕規、中村 健、両先生による名曲ハーモニカコンサートを八幡町集会所にて10月15日に開催しました。43名の地区の方と両先生の演奏を堪能し、若かりし頃のなつかしい演奏を口ずさみ、皆様も感動されたと思います。黒川先生は、二度入院され、片腕、片足がやや不自由ですがそのバイタリティには感動します。平成21年11月3日には、四日市市文化功労賞を受賞されました。



養成研修活動部

松本 光文

中央・同和地区大運動会

10月16日、深夜まで降り続いた雨から一転、すばらしい秋晴れの下、平成23年度中央・同和地区大運動会が開催されました。老若男女！！多くの方（今年は、約400名）の参加により今年もおおいに盛り上がりました。町別対抗（リレー決勝戦を含む9種目）では、選手の皆さんに健闘していただくも僅差で中町4位、八幡町9位でした。（町別の得点・順位は以下の通りでした。）と～っても楽しい秋の一日でした。

順位	得点	町名
1	49	沖の島町
2	40	栄町
3	37	港地区
4	36	中町
4	36	新々・新一
4	36	北浜町
7	35	新町
8	34	元新町
9	32	八幡町
9	32	北条町

- ・楽しかった。おもしろかった。（小学生）
- ・しんどかったが、楽しかった。（30代女）
- ・心配されていた雨も降らず、天気にも恵まれ、皆さんの協力のもと、良い運動会になり、良かった。（40代女）



- ・若い子が多くて、強かった。来年も負けないようにがんばりたい。（30代男）
- ・普段関わりの少ない、町内の子どもたちと触れ合うことができよかったです。（40代男）

- ・苦難の道の練習がしたかった。（50代男）
- ・玉いれがしたい。（3歳女）
- ・リレーの決勝では、負けてくやしかった。来年は、勝ちたいです。（小4女）
- ・楽しく参加させていただきました。来年も参加できたら良いと思います。（70代男）



「親子競技で、ふれ合いができてよかった。（40代女）」
 「景品が良かった。キック&キックでネットにひっかかってこけそうになった。（小5女）」

特集 防災について

東日本大震災の記憶もまだ新しい中、9月に東海地方を襲った台風12号・15号は、『山津波』と呼ばれるほどの被害で3月11日を思い出さずにはいられませんでした。

北勢地区でも天白川や朝明川の水位が上がり、周辺地域に避難勧告が出されました。

地震や台風の被害から身を守るためには、どのような対策が必要なのでしょうか。今回の社協だよりでも防災について考えたいと思います。

<防災訓練>

11月26日（土）、三滝川河川敷において同和地区防災訓練が実施されました。

中消防署の方々に来ていただき、お話をお伺いしたあと、消火器による消火訓練・AEDの使い方・人工呼吸、胸骨圧迫による心肺蘇生法の説明・煙体験ハウスによる煙体験などが行われました。

東日本大震災での津波による大被害を映像等で目の当たりにし、参加された方の中には、実際に非常袋を背負った方もあり、例年にも増して、一様に真剣に取り組んでおられました。

また、婦人部の方による炊き出し訓練も行われました。



＜四日市市津波避難マップの配布＞

四日市市は、今年8月、「津波避難ビル」の指定第1号として、三重銀行本店と協定を結びました。鉄筋コンクリート3階建て以上などを主な条件として選定が進められ、12月上旬に57施設が記された「津波避難マップ」が配布されました。

マップによると、同和地区は津波避難目標ラインと海拔5mラインの間に位置しています。近いビルとしては、中央小学校・中部西小学校・本町プラザがあります。この3つは、『指定避難所』でもあります。津波避難の原則は『早く・遠く・高く』です。それでも、どうしても避難が遅れた場合は、「津波避難ビル」に避難します。たとえば、避難したビルが『指定避難所』でない場合は、警報が解除された後、『指定避難所』に移動することを覚えておきましょう。

四日市市では、今後も随時、「津波避難ビル」の指定を進めていくそうです。

津波による被害を最小限に食い止めるには、日頃からの準備が必要です。家具等の固定・非常袋の準備（3日分）の他、津波の発生を想定し、避難経路と危険箇所のチェック・連絡方法の確認や落ち合い場所を決めるなど、家族みんなで話し合っておきましょう。

黄色いハンカチ 70歳以上の方に配布されます。こんなときに役立ちます

★外出中に体調不良・病気になって助けがほしいとき

★危険を感じて、助けがほしいとき

「黄色いハンカチ」を振って援助を求めましょう。

黄色いハンカチを振っている方を見かけたら是非ご援助ください

〔お知らせ〕

廃品回収は、毎月第2月曜日に実施しております。（雨天実施）

午前9時までに玄関先にお出してください。回収可能なものは、ダンボール・新聞紙・雑誌です。

この活動による助成金は、同和地区社協の活動費の一部となっております。今後ともご協力のほど、よろしくお願いいたします。

＜編集後記＞

今年度最後の「社協だより」となりました。いかがだったでしょうか。今年は、東日本大震災が起こった事もあり、より防災に対する意識を高めていただきたいと年間を通してお伝えしてまいりました。いつ私たちの身に起こるかもしれない災害への備えを見直していただける機会になれば幸いです。今後とも社協の活動にご理解ご協力をお願いいたします。